

特許情報は同時に開発動向を示唆する重要なテクノロジー情報でもあります

ガイドブックシリーズのねらい

この“ガイドブックシリーズ”では、技術テーマを絞り、特許情報から見た最新のテクノロジー情報をお届けすることをねらいとしています。

編集方針は、絞り込まれた特定の技術テーマに対して下記を意図しております。

- ・最近の出願技術を知る
- ・最近の出願課題を知る
- ・最近の出願企業を知る
- ・自己の課題の相対的位置を知る
- ・発明の出願形態(書き方、内容)を知る

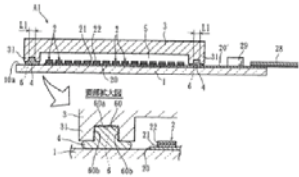
★特許情報は技術者・研究者に役立つテクノロジー情報です
最近の研究開発の成果が反映されたテクノロジー情報です。競合各社の技術者・研究者も、開発に携わる皆様と同じ技術テーマについて、直面する課題や対応技術に取り組んでいます。特許情報は、それぞれが得意とする技術や注力度合い、目指す技術的方向を反映する信頼度の高い技術情報です。

★ガイドブックシリーズでは
特定テーマについて実際の製品開発や改良研究を行っている企業第一線の技術者や研究者を読者として想定しています。直近数年の特許出願に限り、技術テーマを具体的に絞り込んだうえで、特許・技術の双方をみわたすガイドとなる典型例を、各巻ごとに100～200件程度、掲載しました。

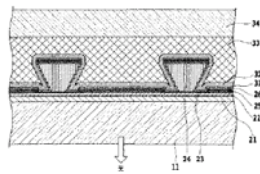
各巻では、全体を見渡すガイドマップを巻頭に示し、平明でわかりやすい技術的観点に従った分類に分けて、それぞれのセクションには、できるだけ多くの特許情報を掲載するように工夫しています。また、巻末には、参考情報として収録した特許情報の一覧表を掲載しています。

技術と特許の双方にわたる実戦的ガイドブックとして、本書をご活用ください。

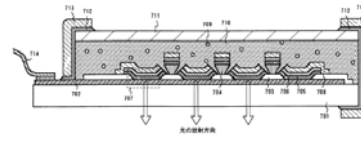
SAMPLE



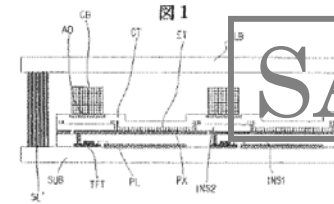
特開2007-035536
ローム



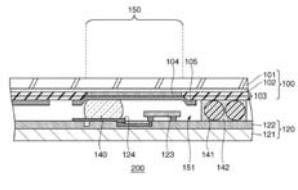
特開2007-005138
富士電機
ホールディングス



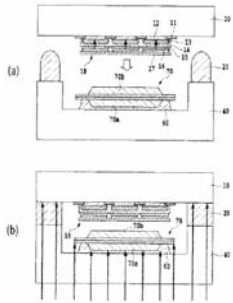
特開2006-261123
半導体エネルギー
研究所



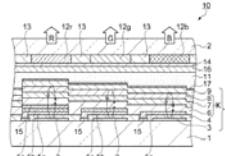
特開2006-004731
日立ディスプレイズ



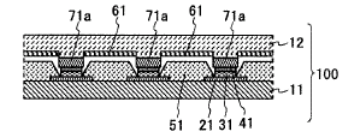
特開2006-163110
セイコーエプソン



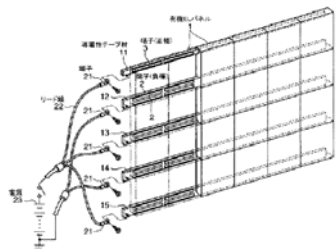
特開2006-120566
富士電機
ホールディングス



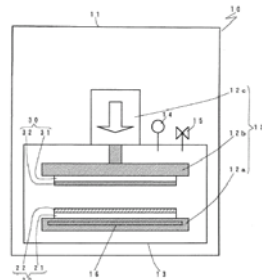
特開2007-128741
セイコーエプソン



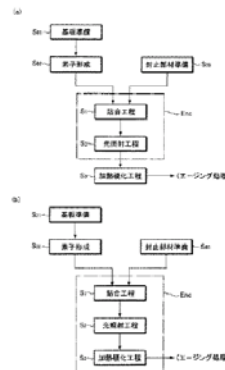
特開2007-095413
凸版印刷



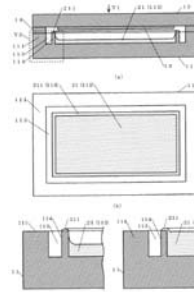
特開2007-147725
松下電工



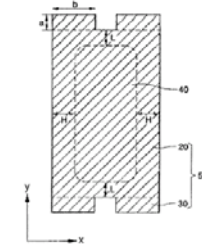
特開2007-035514
大日本印刷



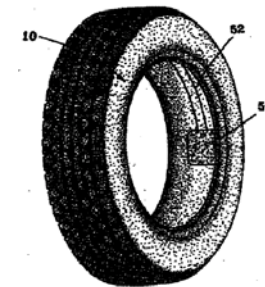
特開2006-236791
東北パイオニア



特開2006-190583
双葉電子工業



特開2007-053092
三星エスディアイ



特開2007-504057
ミシュラン ルシエルシェ
エテック

有機EL技術 シリーズ
有機ELの接着技術
ガイドマップ
©NeoTechnology

- 貼り合わせを図る接着 P. 25
- 気密封止を図る接着 P. 1
- 壁面パネルの接着 P. 97
- 接着工程と封止機器 P. 85
- 接着の課題 P. 71
- 接着剤の機能 - 複合機能 P. 49
- 接着剤の機能 - 透明性 P. 57
- 接着剤の機能 - フレキシブル P. 65

SAMPLE

気密封止を図る接着

SAMPLE

貼り合わせを図る接着

(51) Int.Cl.	テ-マコード' (参)	F I	(21)特願2004-203771
H05B 33/04 (2006.01)	3K007	H05B 33/04	
H05B 33/02 (2006.01)		H05B 33/02	(22)平成16年(2004)7月9日
H05B 33/06 (2006.01)		H05B 33/06	
H05B 33/10 (2006.01)		H05B 33/10	
H01L 51/50 (2006.01)		H05B 33/14	A

【Fターム】3K007 AB13 AB18 BA06 BA07
 BB01 BB02 CA01 CA06
 CC05 DB03 EA00 FA02

(71)出願人 シャープ株式会社
 (72)発明者 寺田 幸祐

大阪府大阪市阿倍野区長池町2番2号

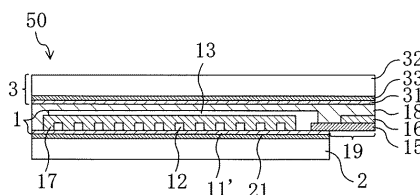
(54)【発明の名称】表示装置およびその製造方法

(57)【要約】

【課題】 防湿性、フレキシブル性、耐貫通強度に優れた表示装置の提供。

【解決手段】有機EL表示装置50は、第1ガラス基板11'と、第1ガラス基板11'上に設けられた発光層17と、発光層17を封止する封止樹脂層18と、第1ガラス基板11'に対向配置された第2ガラス基板31とを備える。第1ガラス基板11'および第2ガラス基板31のそれぞれは、発光素層17に対して反対側の面に設けられたプラスチックフィルム2, 32を有しており、第1ガラス基板11'と第2ガラス基板32とが封止樹脂層18によって接着固定されている。

【選択図】 図1



【技術分野】

【0001】

本発明は有機EL（エレクトロルミネッセンス）表示装置などの表示装置およびその製造方法に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1ガラス基板と、前記第1ガラス基板上に設けられた発光素子と、前記発光素子を封止する封止樹脂層と、前記第1ガラス基板に対向配置された第2ガラス基板とを備えた表示装置において、前記第1ガラス基板および前記第2ガラス基板のうち少なくとも一方のガラス基板は、前記発光素子に対して反対側の面に設けられたプラスチックフィルムを有してお

り、

前記第1ガラス基板と前記第2ガラス基板とが前記封止樹脂層によって接着固定されていることを特徴とする表示装置。

【請求項2】

請求項1に記載された表示装置において、前記プラスチックフィルムが設けられた前記少なくとも一方のガラス基板が50μm以下の厚さを有することを特徴とする表示装置。

【請求項3】

第1ガラス基板と、前記第1ガラス基板上に設けられた発光素子と、前記発光素子を封止する封止樹脂層と、前記第1ガラス基板に対向配置された第2ガラス基板と、前記発光素子に対して反対側の前記第1ガラス基板の面

[続きあり]

SAMPLE

接着剤の機能・・・複合機能

SAMPLE

接着剤の機能・・・透明性

(51) Int.Cl. テーマコード' (参) F I (21)特願2004-236377
 H05B 33/04 (2006.01) 3K007 H05B 33/04
 H01L 51/50 (2006.01) H05B 33/14 A (22)平成16年(2004)8月16日

【Fターム】3K007 AB13 BB01 BB05 DB03
 FA02

(71)出願人 凸版印刷株式会社
 (72)発明者 中村 彰男

東京都台東区台東1丁目5番1号

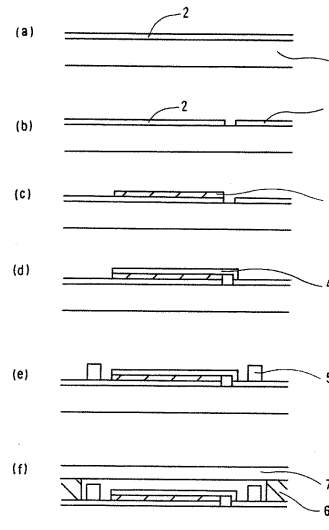
(54)【発明の名称】有機エレクトロルミネッセンス素子

(57)【要約】

【課題】封止キャップを用いることなく、優れた耐湿性を有する有機EL素子、特に、封止基材側から発光を取り出すことが可能なトップエミッション型有機EL素子に適用でき、薄型、軽量、且つ廉価な有機EL素子を提供すること。

【解決手段】少なくとも、陽極層2、有機発光媒体層3、陰極層4が積層されてなる有機エレクトロルミネッセンス素子において、吸湿層5が、接着層6の内側に有機発光媒体層を囲むように形成されていること。接着層を挟持している基材1、7の少なくとも一方が、透光性を有する基材であること。

【選択図】図1



【技術分野】

【0001】

本発明は、情報表示端末などのディスプレイや面発光光源として幅広い用途が期待される有機エレクトロルミネッセンス素子（以下、有機EL素子とする）に関するものである。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも、陽極層、有機発光媒体層、陰極層が積層されてなる有機エレクトロルミネッセンス素子において、吸湿層が、接着層の内側に有機発光媒体層を囲むように形成されていることを特徴とする有機エレクトロルミネッセンス素子。

【請求項2】

前記接着層を挟持している基材の少なくとも一方が、透光性を有する基材であることを特徴とする請求項1記載の有機エレクトロルミネッセンス素子。

【請求項3】

前記吸湿層の厚みが、接着層の厚みに対して0.5～1.0倍であることを特徴とする請求項1又は請求項2記載の有機エレクトロルミネッセンス素子。

SAMPLE

接着剤の機能・・・フレキシブル

(51) Int.Cl. テーマコード' (参) F I (21)特願2004-375879
 H05B 33/04 (2006.01) 3K007 H05B 33/04
 H01L 51/50 (2006.01) H05B 33/14 A (22)平成16年(2004)12月27日

【Fターム】3K007 AB11 BA07 BB01 BB02
 CA06 DB03 FA02

(71)出願人 凸版印刷株式会社
 (72)発明者 銭 懿範 (外2名)

東京都台東区台東1丁目5番1号

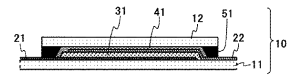
(54)【発明の名称】有機エレクトロルミネッセンス素子

(57)【要約】

【課題】有機発光媒体層が形成された第一の基板と第二の基板を第一接着層で接着封止した後、第一の基板と第二の基板の周囲を第二接着封止層で接着封止することによって、ガラス基板とガラス又は金属製封止板とで作製した素子と同等レベルの封止効果を有する二重封止フレキシブル有機エレクトロルミネッセンス素子を提供することを目的とする。

【解決手段】可撓性を有する第一の基板11上に第一電極21、有機発光媒体層31、第二電極22が形成された第一の基材10と、可撓性を有する第二の基板12とを第一接着封止層41にて接着封止し、さらに可撓性を有する第一の基板と可撓性を有する第二の基板との外周部を第二接着封止層51に接着封止した二重封止の有機エレクトロルミネッセンス素子である。

【選択図】図1



【技術分野】

【0001】

本発明は、フレキシブル有機エレクトロルミネッセンス素子に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可撓性を有する第一の基板上に少なくとも第1電極、有機発光媒体層、第2電極が形成された第一の基材と、可撓性を有する第二の基板とを第一接着封止層にて接着封止した後、可撓性を有する第一の基板と可撓性を有する第二の基板との外周部を第二接着封止層にて接着封止したことを特徴とする有機エレクトロルミネッセンス素子。

【請求項2】

前記第一接着封止層は熱硬化樹脂であることを特徴とする請求項1記載の有機エレクトロルミネッセンス素子。

【請求項3】

前記第二接着封止層はUV硬化樹脂であることを特徴とする請求項1または2に記載の有機エレクトロルミネッセンス素子。

【請求項4】

前記第一接着封止層はUVカット機能を有し、前記有機発光媒体層領域を覆うように形成されていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の有機エレクトロルミネッセンス素子。

SAMPLE

接着の課題

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全16頁)

(51) Int.Cl.	テ-マコード' (参)	F I	(21)特願2004-186356
G09F 9/00 (2006.01)	3B201	G09F 9/00 342 Z	
B08B 3/02 (2006.01)	3K007	B08B 3/02 C	(22)平成16年(2004)6月24日
B08B 3/10 (2006.01)	5G435	B08B 3/02 D	
H05B 33/10 (2006.01)		B08B 3/10 Z	
H01L 51/50 (2006.01)		H05B 33/10	

【 F タ-ム 】 3B201 AA02 AB14 AB38 BB22
 BB45 BB92 CD41
 3K007 AB18 DB03 FA00 FA02

[続きあり]

(71)出願人 セイコーエプソン株式会社 東京都新宿区西新宿 2 丁目 4 番 1 号
 (72)発明者 宮澤 秀明

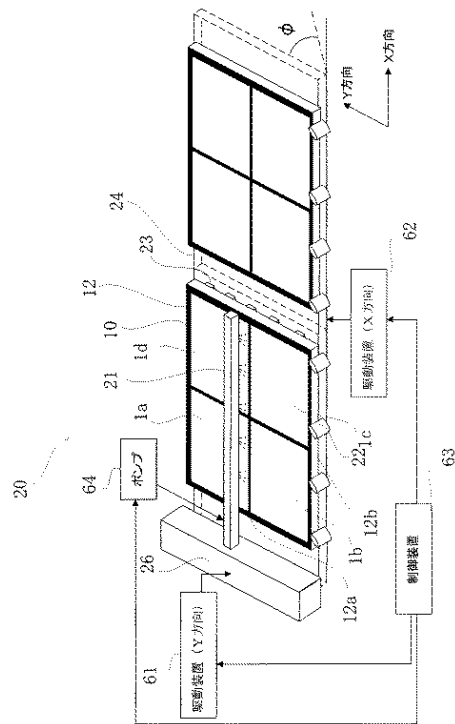
(54)【発明の名称】 基板製造方法、基板洗浄方法及び基板洗浄装置、並びに電気光学基板、電気光学装置、及びこれを*

【 57 】 【 要約 】

【課題】 タイリングされた基板の境界のうち、基板を洗浄する際の基板の搬送方向に沿った境界を重点的に洗浄する。

【解決手段】 有機 E L 素子が形成されるパネルユニットがタイリングされてなる有機 E L ディスプレイ用基板において、各パネルユニットの境界のうち、有機 E L ディスプレイ用基板を洗浄する際の基板の搬送方向に沿った境界にノズルを移動させて洗浄液を吐出する。これにより、境界からはみ出した接着剤を重点的に除去することが可能になる。

【 選択図 】 図 2



【技術分野】

【 0 0 0 1 】

本発明は、例えば、複数の有機 E L パネルをタイリングすることによって形成される大型サイズの有機 E L ディスプレイ基板を製造するための基板製造方法、基板洗浄方法及び基板洗浄装置、並びに電気光学基盤、電気光学装置、及びこれを備えた電子機器の技術分野に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持基板と、前記支持基板上的の接着剤を介して前記支持基板と接着される複数の基板要素とを備えた複合基板を形成する基板形成工程と、前記複合基板を前記複合基板の搬送方向に沿って傾斜さ

せた状態で保持しつつ搬送すると共に、前記複合基板の表面に洗浄液を吐出する吐出手段を、前記表面の面内方向であり、且つ前記搬送方向に直交する方向である前記複合基板の幅方向に沿って移動させることによって、前記複数の基板要素の境界のうち少なくとも前記搬送方向に沿った境界からはみ出した前記接着剤に前記洗浄液を選択的に吐出する基板洗浄工程と、を備えたことを特徴とする基板製造方法。

【請求項 2】

前記基板洗浄工程において、前記複合基板を前記搬送方向に揺動させながら前記複合基板の表面に前記洗浄液を吐出すること

を特徴とする請求項 1 に記載の基板製造方法。

【請求項 3】

[続きあり]

SAMPLE

接着工程と封止機器



(51) Int.Cl.	テ-マコード' (参)	F I	(21)特願2004-196440
H05B 33/10 (2006.01) 2H113	H05B 33/10		
B41F 17/14 (2006.01) 2H114	B41F 17/14	E	(22)平成16年(2004)7月2日
B41M 1/34 (2006.01) 3K007	B41M 1/34		
B41N 10/04 (2006.01)	B41N 10/04		
H01L 51/50 (2006.01)	H05B 33/14	A	

【Fターム】2H113 AA01 AA05 BA28 BB09
 BB22 CA17 DA46 FA03
 2H114 CA03 CA04 DA43 DA46

[続きあり]

(71)出願人 凸版印刷株式会社 東京都台東区台東1丁目5番1号
 (72)発明者 阿部 優子 (外3名)

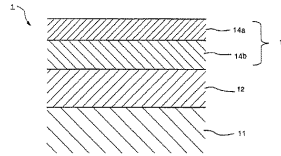
(54)【発明の名称】有機EL素子印刷用ブランケットおよび有機EL素子の製造方法

(57)【要約】

【課題】本発明の課題とするところは、発光むらや粉塵の混入のない有機EL素子を製造することのできるブランケット及びそれを用いて製造した有機EL素子を提供することにある。

【解決手段】転写法により有機EL素子形成材料を基材上に転写させ有機EL素子を製造する際に用いられる印刷用ブランケットにおいて、金属等からなる胴部に、接着層を介してフィルムを積層した基布が周設され、この基布の周りに、インキ剥離性を有する表面層を周設されていることを特徴とする有機EL素子印刷用ブランケットとする。

【選択図】図1



【技術分野】

【0001】

本発明は、有機EL素子印刷用ブランケットに係り、ガラス板等の基材上にインキを高精細にパターンング印刷することで画像を形成する技術、例えば有機エレクトロルミネッセンス素子(有機EL素子)の作成において、インキ化した有機発光材料を基材上に印刷法でパターンングする画像形成技術として用いる好適な技術に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

転写法により有機EL素子形成材料を基材上に転写させ有機EL素子を製造する際に用いられる印刷用ブラン

ケットにおいて、金属等からなる胴部に、接着層を介してフィルムを積層した基布が周設され、この基布の周りに、インキ剥離性を有する表面層を周設されていることを特徴とする有機EL素子印刷用ブランケット。

【請求項2】

前記基布に用いるフィルムが、プラスチックフィルム、金属箔のいずれか、またはこれらの複合体からなることを特徴とする請求項1記載の有機EL素子印刷用ブランケット。

【請求項3】

前記表面層が、シリコーン系ゴム素材からなる最表面層、該最表面層の下側にフッ素系ゴム素材からなる支持層とを備えていることを特徴とする請求項1または2に記

[続きあり]

SAMPLE

壁面パネルの接着

(51) Int. Cl. テーモコード' (参) F I
 G09F 9/00 (2006.01) 3K007 G09F 9/00 348 Z
 H05B 33/06 (2006.01) 5G435 H05B 33/06
 H01L 51/50 (2006.01) H05B 33/14 A

(21) 特願2005-48189

(22) 平成17年(2005)2月24日
 優(31) 特願2004-193899
 先(32) 平成16年(2004)6月30日
 権(33) 日本国(JP)

【Fターム】 3K007 AB18 BB07 CC05 DB03
 FA02
 5G435 AA14 AA17 BB05 EE43

[続きあり]

(71) 出願人 日本精機株式会社
 (72) 発明者 張 来英 (外2名)

新潟県長岡市東蔵王2丁目2番34号

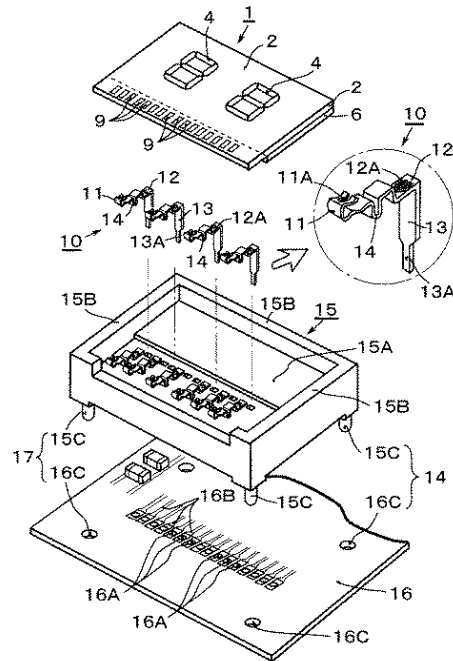
(54) 【発明の名称】 表示パネルにおけるリード端子の実装構造

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、ピン端子付きの表示パネルたとえば有機 E L パネルの電気的な引き回しを良好とし、組付け作業性を簡便に行うことのできる有機 E L 表示器を提供することを目的とする。

【解決手段】 複数の電極部 9 を片面側に有する表示パネル 1 と、この表示パネル 1 の各電極部 9 と電気的に接続するためのリード端子 10 とを備え、前記リード端子 10 には、前記表示パネル 1 を挟みつつ前記電極部 9 と通電するための略コ字形状からなる接触子 11 と、この接触子 11 から延長して設けられ表示パネル 1 の表面部分と接触状態にて接着剤 S により固定保持される固定支持部 16 と、この固定支持部 16 から略直交方向に延びるリード部 13 と、からなることを特徴とする表示パネルにおけるリード端子の実装構造。

【選択図】 図 4



【技術分野】

【0001】

本発明は、複数の電極部を列状に有する表示パネルたとえば有機 E L 表示パネルや液晶表示パネルあるいは L E D 表示パネルなどをプリント配線板上などに電気的に引き回し配線する表示パネルにおけるリード端子の実装構造に関するものである。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の電極部を片面側に有する表示パネルと、この表示パネルの各電極部と電気的に接続するためのリード端子とを備え、前記リード端子には、前記表示パネルを挟みつつ前記電極部と通電するための略コ字形状からなる

接触子と、この接触子から延長して設けられ表示パネルの表面部分と接触状態にて接着剤により固定保持される固定支持部と、この固定支持部から延びるリード部と、からなることを特徴とする表示パネルにおけるリード端子の実装構造。

【請求項 2】

前記固定支持部には、前記接着剤との密着性を高めるための接着剤溜まり部を設けてなることを特徴とする請求項 1 に記載の表示パネルにおけるリード端子の実装構造。

【請求項 3】

前記リード端子には、前記接触子と前記固定支持部との間に、応力緩和部を設けてなることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の表示パネルにおけるリード端

[続きあり]

掲載特許一覧表



公開番号	出願人	発明の名称	出願日	分類
2006-019289	三星エスディアイ株式会社	有機電界発光素子及びその製造方法	2005/06/29	気密封止を図る接着
2006-032058	ハリソン東芝ライティング株式会社	発光装置	2004/07/14	気密封止を図る接着
2006-120566	富士電機ホールディングス株式会社	有機EL素子の封止方法	2004/10/25	気密封止を図る接着
2006-156150	日本精機株式会社	有機ELパネル	2004/11/30	気密封止を図る接着
2006-163110	セイコーエプソン株式会社	回路基板、電気光学装置、電子機器	2004/12/09	気密封止を図る接着
2006-208902	セイコーエプソン株式会社	表示装置、その製造方法、及び電子機器	2005/01/31	気密封止を図る接着
2006-210153	日本精機株式会社	有機ELパネル	2005/01/28	気密封止を図る接着
2006-210154	日本精機株式会社	有機ELパネルの製造方法	2005/01/28	気密封止を図る接着
2006-210246	日本精機株式会社	有機ELパネルの製造方法。	2005/01/31	気密封止を図る接着
2006-244740	セイコーエプソン株式会社	有機EL装置の製造方法及び有機EL装置	2005/03/01	気密封止を図る接着
2006-244808	セイコーエプソン株式会社	有機EL装置の製造方法及び有機EL装置	2005/03/02	気密封止を図る接着
2006-244809	セイコーエプソン株式会社	有機EL装置の製造方法及び有機EL装置	2005/03/02	気密封止を図る接着
2006-331905	オプトレックス株式会社	光学パネルの製造方法	2005/05/27	気密封止を図る接着
2007-035536	ローム株式会社	フラットパネルディスプレイ	2005/07/29	気密封止を図る接着
2007-059311	コニカミノルタホールディングス株式会社	有機エレクトロルミネッセンスパネルおよびその製造方法	2005/08/26	気密封止を図る接着
2007-073285	セイコーエプソン株式会社	有機EL装置の製造方法、及び電子機器	2005/09/06	気密封止を図る接着
2007-073329	ランテクニカルサービス株式会社	有機ELDの製造方法	2005/09/07	気密封止を図る接着
2007-115496	日本精機株式会社	封止用基板及びその封止用基板を用いた有機ELパネルの製造方法	2005/10/20	気密封止を図る接着
2007-141863	株式会社 日立ディスプレイズ、株式会社日立製作所	表示装置	2007/01/29	気密封止を図る接着
2007-149542	京セラ株式会社	画像表示装置およびその製造方法	2005/11/29	気密封止を図る接着
2007-171440	日本精機株式会社	有機ELパネル及びその製造方法	2005/12/21	気密封止を図る接着
2006-024530	シャープ株式会社	表示装置およびその製造方法	2004/07/09	貼り合わせを図る接着
2006-049057	株式会社 日立ディスプレイズ	有機EL表示装置	2004/08/04	貼り合わせを図る接着
2006-054146	凸版印刷株式会社	有機エレクトロルミネッセンス素子	2004/08/16	貼り合わせを図る接着
2006-085916	共同印刷株式会社、日本放送協会	有機ELディスプレイ及びその製造方法	2004/09/14	貼り合わせを図る接着
2006-114499	三星エスディアイ株式会社	有機エレクトロルミネッセンス表示装置及びその製造方法	2005/10/11	貼り合わせを図る接着